

名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2023年 11月 13日

学部・学科名 外国語学部・フランス語学科

担当教員氏名 伊藤 達也

1. 区分	中期留学 ・ <u>語学研修</u> ・ 海外実習
2. プログラム名称	春期フランス研修
3. 渡航先国名	フランス共和国
4. 派遣期間	2023年 2月 9日(木) ~ 2023年 3月 14日(火) 34日間
5. 派遣先教育機関名	アンジェカトリック大学
6. 参加学生数	41名
7. 派遣目的	フランス語の語学力の向上とフランス語圏文化へのより深い理解を目的とする。研修先においては、語学・文化に関する学習および実地研修を行う。また、市内及びロワール地方へのエクスカージョンによりフランスの歴史・文化への理解を深める。
8. 派遣内容	フランス語学科の1、2年生を対象にフランスの大学で4週間のフランス語プログラムを実施した。4週間の授業と文化研修からなるすべてネイティブ講師によるフランス語研修プログラムであり、海外研修として4単位に相当する。A2レベルの学生をB1レベルに引き上げる目的で語学プログラムが組まれている。
9. 成果	研修最後に現地でテストが行われ全員が規定の点数に達したため合格となった。試験の結果は帰国後すみやかに学科会議にかけられ、合格とされたのち、教務委員会により了承された。現地ではホームステイにより授業時間以外でもフランス語に常時触れるため、参加学生の発音と聞き取りに目覚ましい進歩が認められた。また長期留学に向けての強い動機づけにもなっている。
10. 備考	

以上

2022 年度春期フランス海外研修レポート

提出者：赤石茉優

所 属：フランス語学科 3年次

私は春期休暇の4週間、アンジェ西部カトリック大学での研修に参加しました。初めてのヨーロッパであったため、大きな期待とともに少しの不安もありました。しかし、初めて見るフランスの街並みや歴史的建造物は、出発前に抱いていた不安を一瞬にして消し去るほど圧巻で、胸が高鳴りました。

大学にはフランス語を学ぶのに適した環境が整っており、特に少人数での授業は先生への質問もしやすく、充実した学校生活を送ることができました。授業はすべてフランス語で行われ、『聞く、話す、読む、書く』の4つのスキルを向上させることができたと感じています。今回の研修を通してフランス語で会話することへの抵抗をなくしたかったので、授業中は積極的に発言することを心掛けました。恐る恐る言葉にしたフランス語でしたが、先生方はいつも間違いを優しく指摘し、正しい文法を教えてくださいました。そのおかげで、フランス語でのコミュニケーションを楽しみながら授業に参加することができたように思います。

学校終わりには街やスーパーへ買い物に行ったり、パン屋を巡ったりしました。店での初めての注文は、自分のフランス語がうまく伝わるのか緊張しましたが、毎日のように買い物に行ったことで、1週間も経てば緊張することなく注文できるようになりました。日本ではフランス語を使う機会が少ないですが、現地で生活しフランス語を話さなければならない環境に身を置くことで、実践的なコミュニケーションを取れるようになったと思います。

さらに、週末にはモンサンミッシェル、ロワール古城といったエクスカージョンも行われました。他にも TER を利用してナントに行くなど、毎日初めての経験ばかりでした。特にシャンボール城は印象的でした。細部まで美しい外観や城の中央にある2重の螺旋階段、迷路のようで迷子になりそうなほど広い城内は素晴らしかったです。当時の国王の権力の強さを感じる豪華絢爛な城は強く記憶に残っています。

そして、ホストファミリーと過ごした日々は本当にかげがえのない時間でした。初めは緊張から積極的に話しかけることができませんでしたが、互いの家族や異なる文化を紹介したり、写真を見せ合ったりしたことで、すぐに打ち解けることができました。バスケットボールが好きという共通点があったので、試合観戦に連れて行ってくれました。一緒にアンジェのチームを応援し、声を出して盛り上がったことは忘れられない思い出です。マダムが作ってくれた家庭料理はとて美味しくて、日本では食べたことのない食材や食事のマナーについて知りました。ホームパーティーの時には、家族や友人との食事の時間を

大切にするという素敵な文化を発見することができました。ホストファミリーは、私が話す拙いフランス語を最後まで聞き、たくさん会話をしてくれる素敵な方々でした。自分の言葉で伝えられることの喜びを感じると同時に、言いたいことをうまく伝えられないもどかしさを正直何度も感じました。この悔しさを糧にしてより一層言語の勉強に励みたいです。

異なる文化や習慣に戸惑うことも僅かにありましたが、実際に生活することでしか分からないフランスの文化を直接肌で感じることは貴重な経験でした。研修に参加したことは、自身の成長や語学力向上だけでなく、異文化理解にも繋がったと私は考えています。